

宇都宮駅東口地区整備事業 複合施設名称「Utsunomiya Terrace」とシンボルマークが決定

住友商事は、宇都宮市と企業グループが連携して推進する「宇都宮駅東口地区整備事業」（以下「本事業」）において、複合施設（以下「本施設」）の開発を担当しています。まちびらき第一弾の高度専門医療施設（2021年12月開業）、第二弾の分譲マンションに続く2022年8月の開業を予定しており、このたび、本施設の名称「Utsunomiya Terrace（ウツノミヤ テラス）」とシンボルマークが決定しました。



<Utsunomiya Terrace の南側外観パース>

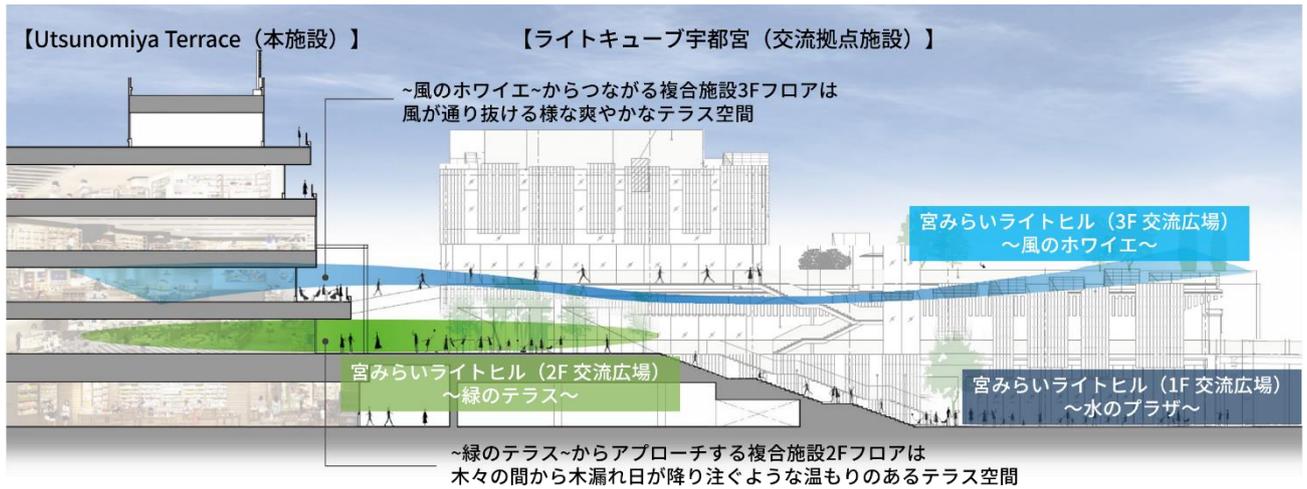


<Utsunomiya Terrace のシンボルマーク>

「Utsunomiya Terrace」に込めた想い

宇都宮市とともに進める本事業の中核を担い、まちの顔として地域や周辺住民に長く愛される施設に育って欲しいとの願いを込めて、本施設の名称を「Utsunomiya Terrace」と名付けました。当社が手掛ける商業施設では、「楽しく、快適で、何度でも来たくなる居心地の良い」空間の創出を目指す「Terrace の思想」を大切に、さまざまな Terrace シリーズを開発しています。本施設の開発を通じて表現したいまちづくりの姿が「Terrace の思想」と相通ずることから、本施設名称の一部に「Terrace」というワードを採用し、緑あふれる開放的な交流広場との連続性を重視した施設を計画しています。

シンボルマークは、本施設の所在地が「宇都宮市宮みらい」であることから、「宮」の文字をモチーフに決めました。大きな円に内包された2つの円それぞれが繋がって動きを感じさせるデザインは、「人が行き交う中心地」をイメージしています。また、小円と中円が繋がって大きな円を成す様は、「まちのシンボルとして人が集う賑わい」や「行き交う人々が創り出す活気」を表し、明るさや快活さを象徴するオレンジのカラーを採用しました。交通の結節点として誕生し、地域の中心となってまち全体を盛り上げていきたいという想いを込めたシンボルマークです。



＜ライトキューブ宇都宮・宮みらいライトヒルおよび本施設の断面イメージ＞



＜ライトキューブ宇都宮および本施設パース＞



＜宮みらいライトヒル 3F パース＞

当社が手掛ける都市開発

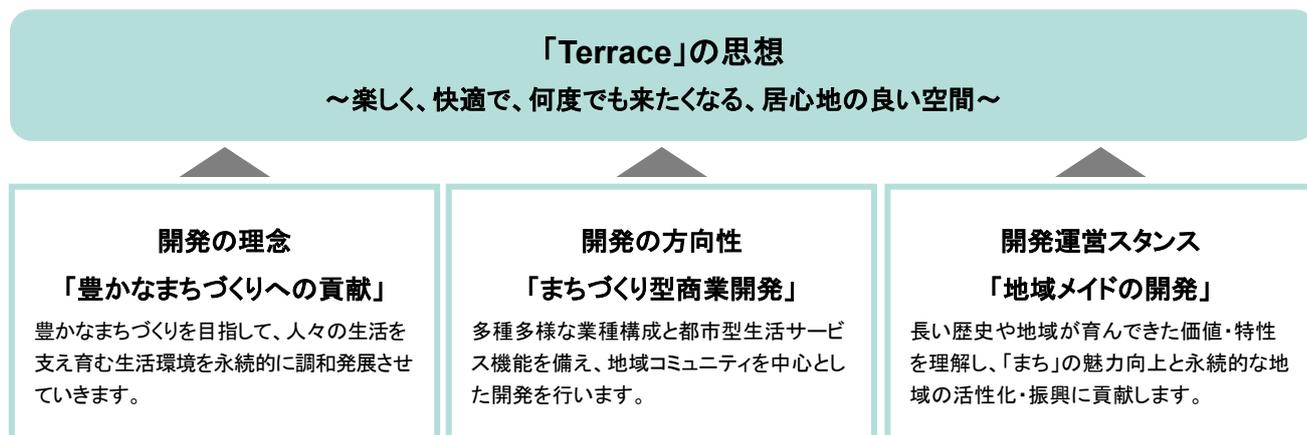
当社は、各地域が育んできた価値観や特性に合わせて、提供する機能や用途を掛けあわせる「地域メイド型複合開発」を通して地域の人々に愛されるまちづくりを目指しています。総合商社として有する多様なプラットフォームと総合デベロッパーとして有する豊富な開発実績やノウハウを踏まえて、当社ならではの総合力を生かした魅力ある都市開発事業を手掛けています。

また、人口約 50 万人を有する宇都宮市は、商業・ビジネスの中心地であるとともに、日光・那須など観光エリアへのアクセス拠点を担ってます。工業団地や大学が集積する宇都宮駅東口地区は、鉄道や路線バス、LRT(ライトレールランジット)が交わる交通結節点としての機能が求められています。宇都宮市は、本事業を「うつのみやの未来を拓く新たな魅力の創造・交流と賑わいの拠点」に位置付け、交通結節点に相応しい北関東最大級の収容人数を誇る交流拠点施設、交流広場、高度専門医療の拠点となる病院、そして地域生活者だけでなく観光・出張目的などの来街者も楽しめる商業施設や宿泊施設などを官民連携で開発しています。

当社は、本施設の開発において「地域メイド型複合開発」「Terrace の思想」と、宇都宮市が掲げる地区整備コンセプト（注）を掛け合わせ、北関東を代表する宇都宮のシンボルに相応しい都市開発に取り組んでいます。今後も時代や環境の変化にも柔軟に対応しながら、地域のシンボルでありコミュニティの中心になるような施設づくり、まちづくりに努めていきます。

（注）地区整備コンセプト：

公共と民間が適切な役割分担の下、「人・もの・情報」などの交流と賑わいの創出、これによる地域経済の活性化や都市の魅力向上などに資する多様で高次の都市機能の導入を図ることにより、新たな都市拠点の形成を目指す。



<参考資料①> 「Utsunomiya Terrace」施設概要

<参考資料②> 当社の商業施設開発実績

<参考リリース>

[「宇都宮駅東口地区整備事業」の優先交渉権者選定および宇都宮市との基本協定書締結について](#)

[宇都宮駅東口地区整備事業 複合施設の出店テナントと街づくり協定を締結](#)

<参考資料①>「Utsunomiya Terrace」施設概要

【施設概要】

名 称: Utsunomiya Terrace (ウツノミヤ テラス)
所 在: 栃木県宇都宮市宮みらい1番2他
交 通: JR 東北新幹線・東北本線「宇都宮駅」徒歩1分
土地面積: 約7,700 m²
建物構造: 14階建て、鉄骨造
延床面積: 約37,400 m²(別棟の駐車場も含む)
工 期: 2020年4月～2022年7月(予定)
開業時期: 2022年8月(予定)

【施設構成】

○商業施設(1～6階部分)

・主なテナント構成

6階: オフィス

5階: ウェディング・レストラン、オフィス

4階: 物販

3階: 飲食、物販、サービス系

2階: 飲食、物販、サービス系

1階: スーパーマーケット、飲食、サービス系

○宿泊施設(5～14階部分)

・屋号: カンデオホテルズ宇都宮

・客室数: 288室

・部屋面積: 18 m²～20 m²

・付帯施設: 大浴場(露天風呂付)、展望レストラン

○立体駐車場(別棟5階建て)

・収容台数: 480台

<参考資料②> 当社の商業施設開発実績

当社では「Terrace の思想」から生まれた Terrace ブランドの下、全国の都市で商業施設開発に取り組んでいます。



テラスモール湘南

(神奈川県藤沢市)

2011 年開業。Terrace の思想を反映した段丘上のテラス空間が特徴。2015 年 4 月に日本ショッピングセンター協会が選出する「第6回日本ショッピングセンター大賞」で金賞を受賞。



テラスモール松戸

(千葉県松戸市)

2019 年開業。「豊かに・楽しむ・毎日の暮らし」をコンセプトに松戸市を中心とした周辺エリア(※)最大級の商業施設。
※テラスモール松戸から 5km 圏内



MOMO テラス

(京都府京都市伏見区)

百貨店から専門店へのコンバージョン。休業を最小限にとどめ、通常営業を維持しながら 7 ヶ月後の 2015 年 4 月には「MOMO テラス」として全館リニューアルオープン。



セルバテラス

(宮城県仙台市泉区)

仙台市営地下鉄南北線「泉中央」駅の目の前、タクシープール、バスロータリーに隣接した交通利便性の高い立地に位置する商業施設。「セルバ」と併せて、地域の皆様にとって便利で過ごしやすい空間を提供。